



Venustiano Carranza y la Revolución Mexicana

カランサとメキシコ革命

2010年、メキシコは、その現代史の理解に欠かせない「革命」から100年という節目を迎えました。独立運動開始200周年とあわせ、同国内外でさまざまな記念行事が行われるとともに、メキシコの歴史そのものを振り返る絶好の機会となりました。

この度イベロアメリカ研究所では、メキシコ市に所在する経済研究教育センター(CIDE)歴史学部のルイス・バロン教授をお招きし、講演会を開催することと致しました。バロン教授は、メキシコ革命研究史を総覧した『メキシコ革命の歴史』(*Historias de la Revolución mexicana*)を2004年に上梓されたほか、100周年を目前に控えた2009年には、革命後の政治制度の礎を築きながら、マデロ、サパタ、ビージャといった「英雄」の陰であまり注目されてこなかったカランサの伝記(『カランサ:ディアス派最後の改革者』(*Carranza: El último reformista porfiriano*))を発刊されるなど活躍中の若手研究者です。

1月15日に予定されているシンポジウム「メキシコ革命の100年:歴史的総括と現代的意義」に向けた基調講演としてもお聴きいただけるかと思えます。シンポジウムとあわせ是非ご来聴下さい。

講師: ルイス・バロン氏 (メキシコ・経済研究教育センター(CIDE)教授)

Conferencista: Dr. Luis Barrón (Centro de Investigación y Docencia Económicas)

日時: 2011年1月13日(木) 午後5時30分~7時30分

Fecha: Jueves, 13 de enero, 5:30 p.m. - 7:30 p.m.

場所: 上智大学中央図書館9階911会議室

Lugar: Sala 911 (Piso 9), Edificio de la Biblioteca Central

使用言語: スペイン語 (日本語による要約配布)

Idioma: En español

参加費無料 / 予約不要・Entrada libre

主催: 上智大学イベロアメリカ研究所

Organizador: Instituto Iberoamericano de la Universidad Sofia

〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1 Tel: 03-3238-3530

E-mail: iber@sophia.ac.jp